

ふるさとの未来を見つめ
力を合わせていきましょう



第15回

秋深く、厳しい寒さの足音が聞こえています。来年はフランスで村の産品が振舞われるかも知れません。そんなワクワクをお楽しみいただくためにも、酷暑の疲れを癒しながらのご自愛の日々をお過ごしください。

天高く馬肥ゆる秋。酷暑の夏を乗り越えた村に、実りの秋がやってきました。10月1日から14日までの住民懇談会では、「村民の今を支える」取り組み、「村の将来への布石」たる取り組みについて、「ふるさと」に向けた温かいお気持ちや忌憚のない意見をいただき、ご出席の皆さまとお顔を合わせながらの対話をさせていただきました。

特に、村の第6次総合振興計画の中間見直しを踏まえた「後期計画」において、村としては初めて、自然減少のみを考慮した場合の「村内外」の将来人口の『予測値』をお示しし、だからこそ、今まさに取り組むべき「人口増加策」として、「村内のなりわい人口を増加させること」「村内外の村民人口（住基人口）の減少スピードを緩やかにすること」について、数値目標を明示致しました。村のホームページなどでも公表しておりますので、ぜひ一読いただき、ご意見いただければ幸いです。

15日に行われた「長泥植樹祭」には住民の皆さまに加え50人近い大学生が集い、とても賑やかで朗らかな植樹祭となりました。地元の方々のふるさとに対する熱い想いと、こうした多くの眼差しによって地域が支えられている姿に、胸が熱くなります。

22日には、少しひんやりした秋空の下、天候にも恵まれ、文化祭や秋まつりなどワクワクするイベントが開催されました。多くの方のご尽力、ご協力により、沢山の方に「来場いただきましたこと、心より御礼申し上げます。」

村長に就任して3年が経過しました。特に、村の人口、行政サービスに直結する「生業（なりわい）」づくりに邁進する中で、農林畜産業・商工業の振興とともに、過去にはないスピードで進めて来た「企業誘致」なども実現の形になってきました。ふるさとと資源を見出し、磨き上げ、活かす「ふるさと」の担い手「お一人おひとりの営みも飛躍してきています。お一人おひとりが主体的に輝く「今」を構築していくために、今後とも将来への布石を投じて参ります。

協力隊の横山です、先日、村民の森あいの沢「宿泊体験館きこり」で行われた『食と歌とマジックで、笑顔あふれる飯館の創造』に参加してきました！

第1部の『飯館村産の牛肉と野菜を使った創作料理教室 Part IV』は、シェフを呼んでの本格料理教室。私は今回が初めての参加となりましたが、各グループに分かれて分担作業。

私は飯館のかぼちゃやナツハゼを使ったパフェ担当でした。できた料理はどれも絶品！紙皿にワンプレートでしたが、それでも美しく、一つ一つお皿に乗せたらまるで高級レストランのコース料理でした。

今回デザートを担当させて頂いたので、自分のコーヒー屋での商品開発につながるヒントが沢山ありました。

あんなに大勢を集めての企画って本当に大変ですよ…主催した菅野クニさん（いいたての宝さがしをしよう会代表）のパワーは本当にすごい！教室の後はマジックショーにトランペットのコンサートでとても充実した1日でした。参加された皆様お疲れ様でした。



今月のライター

地域おこし協力隊 横山 梨沙 さん

ひとのうごき

おくやみ

氏名	年齢	行政区
小久保 直樹 さん	73	八木沢・芦原
佐藤 常子 さん	89	草野
柴田 絹子 さん	74	上飯樋
石井 辰清 さん	87	白石
細杉 朝雄 さん	72	前田
齋藤 キヨイ さん	77	前田・八和木
菅野 キイ子 さん	79	深谷



ひとのうごき 令和5年9月30日現在

人口	今月（前月比）	9月1日～30日までの人口動態
●男	2,377人（-4）	転入 6人
●女	2,354人（+1）	転出 2人
計	4,731人（-3）	出生 1人
世帯数	1,822戸（+1）	死亡 8人
		（住民基本台帳人口）

ご冥福をお祈り申し上げます

（9月21日から10月20日までに届け出のあったものを掲載）
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

村民広報委員
ふじおさんの
いいたて 宝さがし

第16回 農業に誇りを持って！



秋の夕方、高橋章さん夫妻（上飯樋）を福島市の下鳥渡に訪ねた時、大きな米の乾燥機が3台も稼働している最中でした。他にも色々な農機具が所狭しと並んでいて、倉庫には何十俵もの出荷を待つお米が整然と並べられていました。昔ながらの飯館村の農家の風景のようでした。

聞いてみると稲作は8町歩（約8ha）ほど、夏にはトマトを2反歩（約20a）ほど作っていて、収穫時は5月から10月くらいまで。とても忙しくして、奥さんの盟子さんには大変苦勞をかけていると、少し小さな声で言っていたのが今回の宝話かなと思いました。

章さんは、自分では「亭主関白」だと言っていましたが、写真を撮る時になるとやっぱりそうではないと感じてしまいました。

若い頃は、ダムや河川の水門工事の設置、修理などの特殊仕事をしていた、東北や関東の方までも出かけていたそうです。趣味も多く、三輪車にも乗り、キャンピングカーでも仲間たちと一緒に日本全国を旅し、出かけた先々でのハプニングも色々あったと聞きました。子どもは5人。今は農業に誇りをもって仕事をしていると話してくれました。

入札結果はHPで 広報紙上で公表してきた入札結果は、令和4年度分から、ホームページに掲載しています。

